

保護者からは、ほぼ賛同していただきました。

学校教育目標への保護者アンケートで、36家庭からご意見をいただきました。全文を掲載します。

心の教育を最重視し、徳知体という並びにしたこと、より具体的な内容となっていることに多くの賛同がありました。

この目標を設定した後の、これからの教育こそが重要になっていくというご指摘もまさにその通りです。

まずは学校内で、目標実現に向けた教育の重点化、一層の工夫をしていかなければなりません。その上で、さらに家庭と地域にもお願いをしていきたいと考えます。

地域からの意見を待って、3月14日に決定委員会を開催して最終決定します。

ふるさと吉敷を愛し、
あたたかい言葉で支え合いながら、
進んで学び、人と学び、
大切な心と体を自ら守る児童を、
家庭・地域とともに育成する。

○具体的でとても分かりやすいと思います。賛同します。少しずれるかもしれませんが、地域の方の中には、子どもに「～はだめ、～はいけない！」と、必要以上に声をかけられる方がおられ、地域との交流が異なる方向になることも心配しています。地域の方がどうか大らかにあたたかく子ども達を見守って下さることを願います。多くの大人の目があると安心して過ごせます。よろしくお願いします。

○教育目標「子どもが輝く学校」より、明確で分かりやすいと感じました。家庭・地域が一体となって、子ども達みんなが元気あふれる吉敷地区であってほしいと願います。

○何度も読み理解しました。学校側が、少

しでも良くしようと取り組まれても、家庭で何もしなければ変わらないですね。私も意識して子どもと関わりたいと思います。

○とても素敵な案だなと思いました。こんな地域になったらいいと思います。私も協力します。子どもが小学校を卒業しても。

○親として、学校←→家庭の協力以外に地域の方々の協力が得られるというのは、とても安心で心強いことです。また、子ども達も、先生や親以外の先生との関わりを持つことで、多くの事を学んでくれるのではないかと思います。良城小学校の取組が広がって、近い将来、素敵な地区になれば良いと思います。

○心の教育が基本であることは、本当にその通りだと思います。参観日に生かさせていただいても、みんな伸び伸びと楽しそうに授業を受けていて素晴らしいと思います。徳知体で導いていただけたらと思います。

○平素より子どもへのご指導ありがとうございます。校長先生のリーダーシップのもと、学校がより良い方向に向かおうとしているのが強く感じられます。「地域とともに・・・」ですが、図書館を地域に開放するというのはどうでしょうか。かわらばんを拝見したところ、地域へのお願いはありますが、もっと地域と学校（教員）の姿が見えて、PとAがより関わる方が良いと感じましたので。

○思いやりのある人間関係を基本とされている考えにとっても共感します。学校の先生方、家庭、地域の皆様のあたたかい多くの目で子ども達一人一人を見守っていただけると思います。親としても、学校の教育方針にそった形で、教育をしていこうと思います。

○「心の教育が全ての基本」という考え方に共感します。優しく強い心を持ってほしいです。

○「子どもが輝く学校」よりも、よりこれから学校や家庭においても必要とされている内容になっていて、とても良い目標だと思います。人の痛みの分かる心のあたたかい人間に成長することで、いじめのない、皆が安心して楽しく学ぶことができる学校になっていくことを願っています。

○吉敷の住人として、一人一人が大切にされるようにと考えられた、あたたかくもしっかりとした教育目標だと思います。第4次案は読んでいてとても良かったのですが、「知」の部分が、もう少し分かりやすくしたらいいと思います。例えば、「自分から（自らでもOK）進んで学び、人と関わることで学び」です。読んで自分と重なり合うような言い方がいいと思います。

○「あたたかい言葉」：とても重要だと思います。「主体的な学習」：そうあってほしいと思います。「規則正しい生活習慣」：本来親が身につけさせることではありますが、学校の方でも指導していただくことで、子どもの意識も変わるので、ありがたく感じます。

○目標に向かってどう具体的に取り組んでいくのか楽しみにしています。ただ、家庭は日々子育てをするのが当然であり、十分頑張っているつもりですが、強調されると、先日炎上した「あたしおかあさんだから」の様な息苦しさを感

○地域で子ども達をみるべきだと思います。支え合いたいです。

○前の目標は想像力が必要な目標であったと思いますが、より具体的な現案も分かりやすい案だと思います。

○地域の皆さんに守られて4月より無事に通うことができました。一層地域とのつながりが強まるように期待しています。

○問題点、改善点、目標まで明確になっていて、どう取り組んでいけば良いのかが分かった。

○(徳)「あたたかい言葉・・・」とても共感できます。言葉や挨拶が自然と飛び交う地域は素敵だと感じています。安心して子ども達も登校でき、安心して送り出していくことのできる地域でありたいと思います。いつまでもあたたかい地域・吉敷でありたいですね。

○「教育」がない限り、人間関係は成り立ちません。勉強はもちろんのことですが、集団生活の中で「教育」されることは人間関係です。法律でも義務となっていますが、「教育」の中身は、生きていく中での全てとなるものです。子どもはとても心がきれいです。「先生」が、「親」が、大人が伝えることをそのまま受け入れ信じてくれます。この目標の中身をしっかりと理解してくれたら、全てがうまくやっていけると信じます。私は44才ですが、この歳になっても、「あっ！そういうことだったんだ。」と理解することがよくあります。今まで分かっていた言葉や行動の趣旨がたくさんあります。大切なことをたくさん「教育」によって分かってほしいです。

○子ども達の教育を、学校職員任せにするのではなく、家庭・地域も一体となって進めていきたいという目標が、より具体的に示されているように感じます。吉敷地区が一丸となって、皆が活気づいていくことは本当に素敵なことだと思います。各々の世代の意識改革ができることを願います。

○徳知体全ての目標が、学校だけでなく、家庭・地域全てのことにおける目標だと思います。子どもだけの目標と思わず、親も子の目標を共有しながら生活していくとよりよくなっていくと思います。

○子ども達の成長を真ん中に、地域にもあたたかいつながりが生まれそうな気がしました。少し長めですが、とても良い目標だと感じます。

○挨拶はとても大事なので、目標に掲げて

ありいいことだと思います。今でもみんな挨拶が上手にできていると感心します。進んで勉強は、なかなか難しいと思いますが、よろしくお願いします。

○学校と家庭、地域の連携はとても大切だと感じました。そのための今回の目標は分かりやすく、それぞれの立場での取組が明確になるように思いました。徳・・言葉、知・・進んで、体・・生活習慣は特に我が家で気になっていることでした。

○目標スローガンとしては長文のような盛りだくさんの印象を受けるが、まあ、目指したいところはよく分かると思う。なんとなく副題のような感じがするかも。

○この4つの目標は素晴らしいと思いますが、どう実現していくかというのが難しいと考えました。

○とても良いと思います。心のあたたかい子になってほしいです。

○とても素晴らしい目標で良いと思います。

○とても良い文言だと思います。

○それでよろしいと思います。

○良城小、良城小校区は、地域の祭りや地域運動会等、PTA、子どもがよく参加している方だと思います。

○「地域」という言葉が多く出てきますが、まずは学校内でどのような教育・指導を行うかが明確でないように感じます。地域社会は児童に自然と関わっていると思います。吉敷地区の向上が目標ではなく、結果的に児童の成長が地域の将来的な活性化となり、向上に繋がる訳で、もっと具体的な目標が必要であるような気がします。例えば、期間を決めてテーマに沿った目標の提示。「積極的にいろいろな学校生活・活動に取り組む」など、育成、指導を行う等、児童が6年間有意義に学校生活を送ることができ、健康(心身ともに)で成長することを進めてほしい。

○4で「地域の大人」とありますが、地域は中・高校生もおおり、お互いが挨拶をしています。「地域の人」という表現の方が良いのではないのでしょうか。

○(体)の「自ら」の趣旨より。精神的な強さまで子どもに求めるのは、求めすぎではないのでしょうか。子ども達は未熟な存在で、様々な場面で周囲の大人が上手にフォローしてあげることも必要ではと考えます。元気にのびのびと、自分に自信が持てるような環境づくりが図れればと思います。

○子どもが保育園に通っている時期、自宅と離れた地域の園だったこと、平日は朝から夕方まで仕事で自宅にはいなかったことで、地区との関わりがほとんど持てないまま小学校に入学しました。しかし、”かわらばん”の校長先生の言葉のとおりで、学校や子ども達を通じて、ご近所や見守り活動をしている方々、子どものお友達の保護者の方々……。ぐんと世界が広がりました。アンケートの趣旨とは少し違っているかもしれませんが。学校、家庭、地域で、子ども達が安心して過ごせることができて初めて、教育目標が達成できる。目標は素晴らしいと思います。みんなで子ども達を愛し、大切にし、子ども達も、自分を大切に、周囲の人々を大切にできる学校になればいいなあとと思います。

○かわら版3月号の校長先生のおっしゃっていた「近所の人顔も知らない状況」という言葉に共感しました。私も4～5人くらいしか、名前、顔を知っている人や子ども達がいらないからです。ですから、学年始めに「連絡帳を預けられる友達2名以上」を記入しなければならないとき、毎年困っていました。学校に行ったときには、知らない子にも挨拶をすれば気持ちよく返してくれますが、学校外で、下校の子に「お帰り」と声をかけても、ペコッとしてくれる子はましで、不審がって小走りで行く子にはショックを受けました。でも、「自らを守る」をしていたんでしょう。「ながら見守り」ではがらかな吉敷地区になっていくと良いですね。